



三菱マテリアル株式会社九州工場本事務所（福岡県）

第70期 中間株主通信

平成29年4月1日～平成29年9月30日

 株式会社 ピーエス三菱

証券コード：1871



PC業界のトップランナーとして 成長分野、新分野に 果敢に挑戦します。

「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という
基本理念を胸に新たな価値を創造し、
持続的な企業成長を実現させます。

代表取締役社長 社長執行役員

藤井敏道

■ 当第2四半期の事業環境について

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「中間株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

平成29年度第2四半期累計期間における我が国の経済は、企業部門においては輸出や生産の持ち直しが続き、設備投資は緩やかに増加しており、また、企業業績も順調に推移し、景況感も改善しております。家計部門においても、堅調な雇用や所得情勢を受けて個人消費も回復するなど、景気は持ち直してきております。

一方で、国際経済の不確実性や地政学的リスクの高まりなど、引き続き先行き予断を許さない状況になっております。

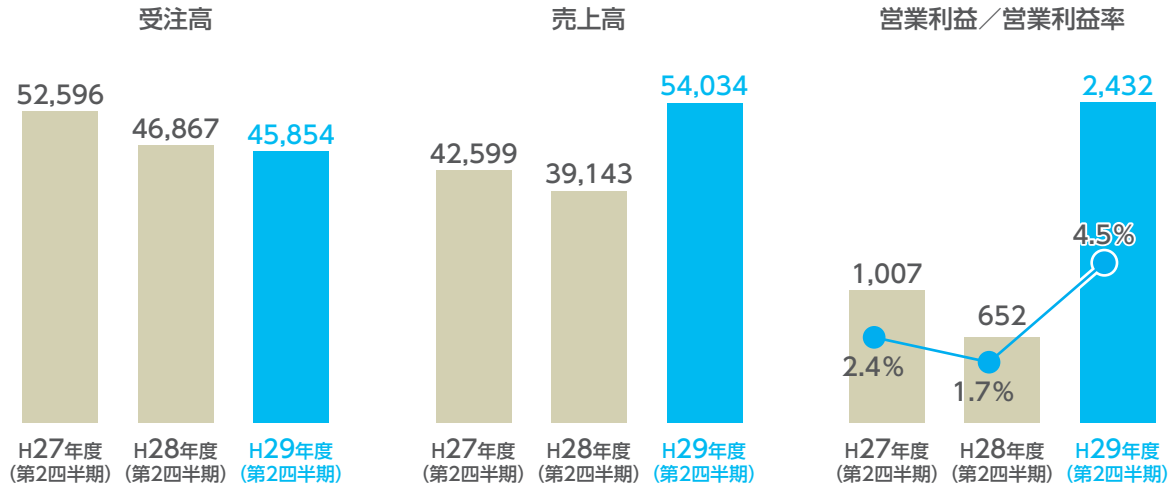
当社が属する建設産業におきましても、公共投資はピークアウトしている状況は変わりありませんが、引き続き高い水準を維持しており、需要は底堅く推移しております。民間投資においても好調な企業業績を受けて投資意

欲は高く、人手不足を背景とした省力化投資や東京オリンピック・パラリンピック関連の建設需要も多く、企業収益は好調に推移しております。

■ 当第2四半期の概況ならびに業績について

このような経済状況のもと、当社はグループ全体での収益最大化を目指し、土木部門では新設橋梁の発注量が減少する中においても、新設橋梁の安定的な受注を維持しつつ、既存の高速道路や橋梁の長寿命化対策の一つである「床版取替工事」等の大規模更新やメンテナンス分野の事業拡大を目指し、社会ニーズに対応できる体制整備に取り組んでまいりました。建築部門においては、勝ち残りのための競争力向上を目指し、「品質最優先の取り組み」および「コスト競争力の改善」といった根本的な課題解決に注力すると同時に、事業成長の推進力となるPC技術を取り入れた企画・提案型の受注活動に取り組んでまいりました。

連結財務ハイライト (単位：百万円)



当社グループの平成29年度第2四半期累計期間の連結受注高は、458億54百万円（前年同期468億67百万円 前年同期比2.2%減）となりました。連結売上高につきましては、手持工事の進捗が進んだことにより540億34百万円（前年同期391億43百万円 前年同期比38.0%増）となりました。損益の状況につきましては、当社ならびに子会社の売上総利益の増益により、連結営業利益24億32百万円（前年同期6億52百万円 前年同期比272.8%増）、連結経常利益24億3百万円（前年同期6億74百万円 前年同期比256.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億47百万円（前年同期5億1百万円 前年同期比287.9%増）となりました。中間配当につきましては無配とさせていただき、期末におきまして普通株式1株につき4円増配し、16円の期末配当とさせていただき予定です。

■ 今後の取り組みについて

当社といたしましては引き続き主軸事業での安定した

収益を確保するとともに、「中期経営計画2016（2016年度～2018年度）」の基本方針・基本戦略に基づき、10年後の企業像に向けてグループ会社のベクトルを合わせ、「成長分野のリード」「新しいフィールドへの挑戦」という将来を見据えた事業体制の着実な整備、採算性を重視した堅実な経営を継承してまいります。

当社グループはPC業界のトップランナーとしてこれからも社会の発展に尽くし、災害から尊い人命や貴重な財産を守る強靱な構造物を造り、人々が生き活きと暮らせる“まちづくり”に貢献する企業として「変革」し続けてまいります。また、建設業界における最重要課題である「安全」「品質」を確保し、コンプライアンスを徹底する等、健全経営に努め、「基本的な社会責任」を果たしながら、「働き方改革」の推進を含め全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

連結決算の概要

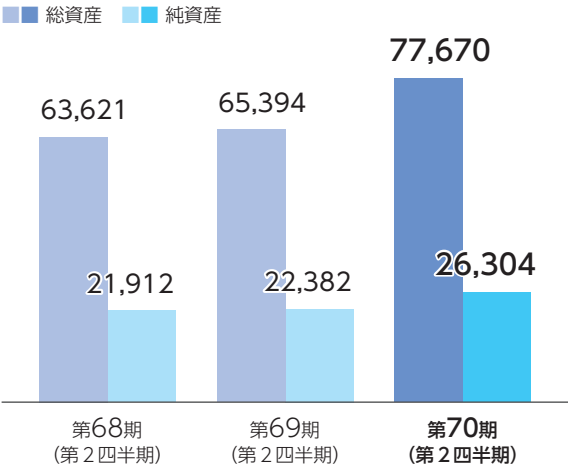
売上総利益の増益により、第2四半期の最高益更新

四半期連結貸借対照表（要旨）

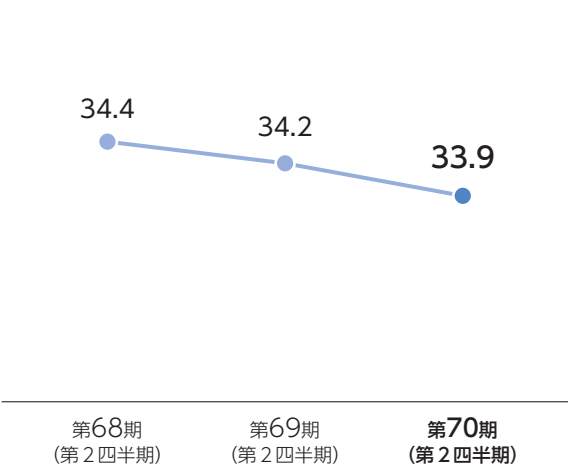
単位：百万円

科 目	前期末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在
流動資産	60,263	60,371
固定資産	17,043	17,298
有形固定資産	12,232	12,201
無形固定資産	217	206
投資その他の資産	4,593	4,890
資産合計	77,306	77,670
流動負債	42,254	40,908
固定負債	10,328	10,458
純資産	24,722	26,304
負債・純資産合計	77,306	77,670

総資産／純資産 単位：百万円



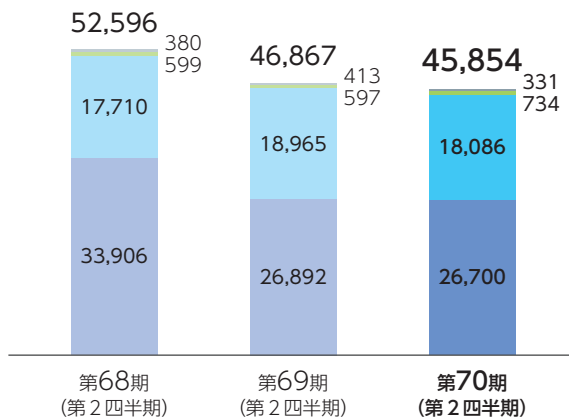
自己資本比率 単位：%



受注高（セグメント別）

単位：百万円

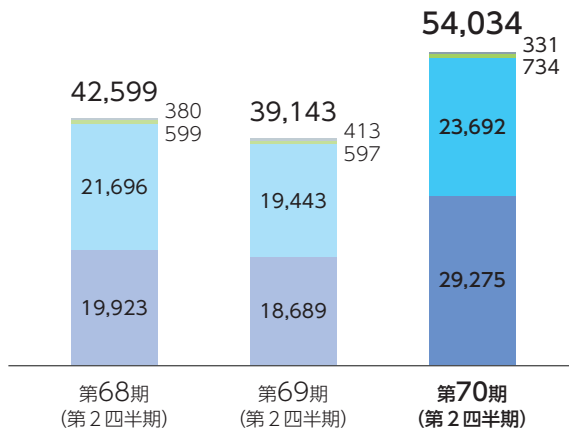
■ 土木建設 ■ 建築建設 ■ 製造 ■ その他



売上高（セグメント別）

単位：百万円

■ 土木建設 ■ 建築建設 ■ 製造 ■ その他



四半期連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	前第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	39,143	54,034
売上原価	34,818	47,518
売上総利益	4,325	6,515
販売費及び一般管理費	3,673	4,082
営業利益	652	2,432
経常利益	674	2,403
親会社株主に帰属する 四半期純利益	501	1,947

MuSSL工法の開発

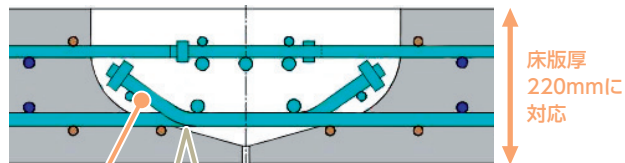
プレキャストPC床版の新たな継手構造

近年、橋の大規模更新事業が進む中で、舗装の下にある「床版」の取替え工事が注目されています。

東日本・中日本・西日本高速道路会社（NEXCO）では既設床版（RC）をより耐久性に優れ、施工期間の短い「プレキャストPC床版」に全国的に交換していく方針で、全国で約1,000橋、1.6兆円規模の市場になるとみられています。しかし、既設床版はプレキャストPC床版より薄く、従来の継手（床版の接合部）では対応できないため、新たな継手構造「MuSSL工法」を開発しました。

また、従来の継手構造では接合する際、底部分に型枠が必要でしたが、この新工法ではこれを省略することができ、施工性とコスト削減にもつながります。

今後は、この画期的な工法が実際の施工へ適用されていくよう技術提案をしてみたいです。



継手構造図



円形ナット

耐水性・耐久性に優れた
樹脂塗装した鉄筋



組立状況

「MuSSL工法」開発者インタビュー



志道 昭郎

技術本部技術部
開発技術グループリーダー

■ 苦労した所は？

円形ナットの開発では、大きさや長さを変えて試行錯誤しました。実際の継手構造での曲げ破壊試験を行い、想定した性能が得られない場合は問題点を検討し、3か月かかる試験を繰り返しました。

■ 今後の取り組みについて

社会インフラの高齢化に伴い、構造物のメンテナンスや更新の重要性がますます高まっています。私たちの所属する技術本部では、このような社会のニーズにマッチした質の高い技術を開発することに誇りを感じつつ、今後も研究に取り組んでいきます。

■ 耐久性はどうですか？

床版の上で車輪を往復させる「輪荷重走行試験」を行い、荷重25トン10万回の往復でも破損しない100年相当の耐久性を確認済みです。



輪荷重走行試験状況



久徳 貢大

技術本部技術部
開発技術グループ

難工事を国内最大級の張り出し架設工法により完成（塩川橋：兵庫県）

塩川橋は、新名神高速道路の高槻第一JCT～神戸JCT間に建設されたPC波形鋼板ウエブ連続ラーメン橋です。国道173号線と能勢電鉄をまたぐ工事となることから、第三者への安全を最優先に考えて「張り出し架設工法」*を採用しました。橋脚からの張り出し部分の長さは最大89.2m、最大桁高は12.0mとなり、同じ形式のPC橋としては国内最大級です。

新名神高速道路は、名神高速自動車道・中国自動車道の慢性的な渋滞の緩和および大規模災害時の代替え道路としての機能に大きな期待がよせられています。



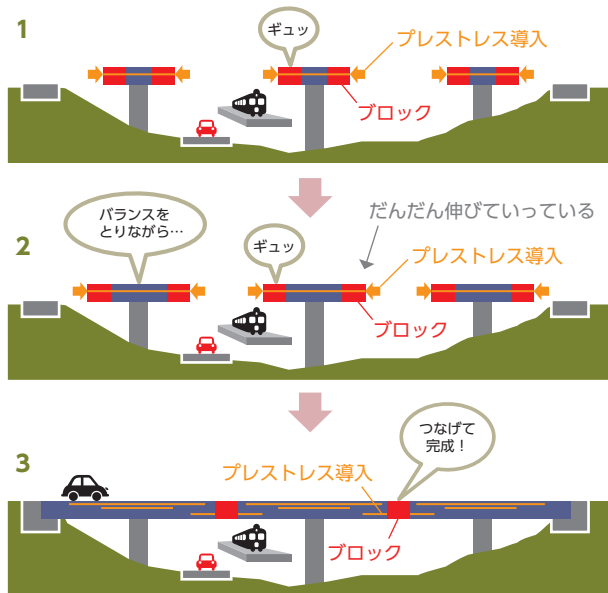
※張り出し架設工法とは

橋脚から左右にバランスをとりながら橋体を伸ばしていく架設工法。（右図参照）

橋のユニークな立ち姿から、別名「やじろべえ工法」とも呼ばれ、桁下空間の制約が少ないため、山間部や河川上あるいは都市内高架橋でも適用可能です。



張り出し架設の様子



張り出し架設工法

浦和レッズ大原クラブハウス増築工事（埼玉県）

さいたま市にある大原サッカー場は、浦和レッドダイヤモンズ専用の天然芝グラウンド2面とクラブハウスを備えた施設で、既存のクラブハウスは平成16年に竣工した当社の設計施工物件です。

今回の増築工事は、クラブハウスに隣接する器具庫・トレーニングルームを解体し、新たに選手専用ラウンジや仮眠室等のリラックススペース、栄養管理を目的とした食堂と厨房を設置し、選手強化のための機能を多く備えたクラブハウス（別棟）を建設することを目的としております。



トレーニングルーム



エントランス

地域とサポーターに親しまれた既存のクラブハウスのデザインを継承し、内外装のアクセント色にはレッズを彷彿させる赤を採用しました。また、既存クラブハウスと一体感を持たせるため、コンクリート打放しの擁壁を増築棟を包み込むように連続させました。

技術面では当社の得意とするPC工法を一部採用したことで、新しいトレーニングルームは約16m×12mの広々とした無柱空間となり、トップチームの強化に向けた機能的な環境づくりに貢献いたしました。



ピーエス三菱グループのCSR活動

「リスクマネジメントの推進」「コンプライアンスの推進」「ステークホルダーコミュニケーションの推進」「地域社会への貢献」をCSR基本活動方針に掲げ、「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という基本理念の実現に向けて、PDCA（計画・実行・評価・改善）を実践し、充実したCSR活動を行うことで更なるステップアップを図るべく取り組んでいます。

今回は「地域社会への貢献」の一環として実施している現場見学会をご紹介します。

社会貢献活動
in
現場作業所



■小学生向け現場見学会の開催

当社へのご理解をよりいっそう深めていただくため、近郊住民の方々や幼稚園児、小・中学生を対象に現場見学会、また技術系学生を対象に研修会等を積極的に開催しています。

今回の見学会では、橋の説明はもちろんのこと、橋に絵を自由に描いたり、高所作業車に乗ったりできる企画がとても好評でした。



CSR報告書2017

当社ホームページ内の「CSR報告書」にて、CSR活動の情報がご覧いただけます。

アドレスはこちら ▶ <http://www.psmic.co.jp/csr/>



完成工事のご紹介・・・土木編

平成28年度 四日市港霞ヶ浦 北ふ頭地区道路（霞4号幹線） 橋梁上部工事 [三重県]

本工事は、四日市港霞ヶ浦南ふ頭と町道川越中央線の臨海橋を結ぶ約4.1kmの臨港道路の橋梁上部工事です。橋梁構造はポストテンション方式7径間連続PC中空床版橋です。

この道路が開通することにより、コンテナターミナルへのアクセスが大変便利になります。



中部横断向之沢 橋梁下部（その2）工事 [山梨県]

中部横断自動車道の富沢IC～南部IC間にある向之沢を渡河する2橋の下部工を施工しました。

本区間は平成30年度の開通を予定しており、産業・観光面の活性化等、さまざまな効果が期待されています。





平成28年度 町道宮ノ前西町線 日吉橋耐震補強工事 〔島根県〕

島根県の隠岐の島町を流れる八尾川に架かる日吉橋の橋脚耐震補強工事を行いました。

本橋は災害時には避難ルートにもなる島内の主要幹線道路であり、昨年度と今年度において橋脚2基の耐震補強が完了いたしました。

東水戸道路 勝田高架橋 橋脚補修工事

〔茨城県〕

東日本大震災で影響を受けた橋脚の一部を補修する工事を行いました。

供用中の道路の上部工を約10か月間仮の橋脚で支え、橋脚1基および支承2基を取り替えました。

これにより地震時における安全性が大きく向上しました。



完成工事のご紹介・・・建築編



ユインチホテル南城増築工事

〔沖縄県〕 PC工事

沖縄県南城市にあるウェルネスリゾート沖縄休暇センターユインチホテル南城の敷地内に宿泊施設「アネックス・ビル」を増築しました。

地元のゼネコンによるデザインビルドで、PCaPC工法が採用されました。

庶野漁港人工地盤建設工事

〔北海道〕 PC工事

襟裳岬の東側15kmに位置するPCaPC造の漁港人工地盤です。

1階は荷捌き施設、2階は駐車場として活用され、さらに2階部分は津波来襲時に漁港利用者が一時的に避難できる場所として、安全確保のための重要な役割を果たしています。





ウジエスーパー南三陸店新築工事【宮城県】

東日本大震災時に津波で流出した南三陸町の店舗を再建する計画の一環として、津波被害を避けるために大規模なかさ上げ工事を行った後、店舗の建築工事が行われました。

震災後、町内には大型スーパーがなく、住民の方々の生活再建の後押しに期待されています。

グランイーグル南六郷リバランス【東京都】

多摩川に近接した潤いのある街、大田区南六郷に立地する地上11階建て・総戸数30戸の分譲マンションです。

敷地入口からマンションまでは安心・安全を意識した歩車分離の動線となっており、各住戸内に自転車をメンテナンスできる十分な広さを確保したサイクルポートを備えています。



■ 会社概要

商 号	株式会社ピーエス三菱 P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
設 立	昭和27年3月1日
資 本 金	4,218,500,000円
従業員数	単体：1,065名 連結：1,719名
本社・支店	
本 社	〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9111
東京土木支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9511
東京建築支店	〒104-8572 東京都中央区晴海二丁目5番24号 (03) 6385-9611
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル (022) 223-8121
名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル (052) 221-8486
大阪支店	〒530-6027 大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー (06) 6881-1170
広島支店	〒730-0036 広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル (082) 240-7011
九州支店	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル (092) 739-7001

■ 役 員

取締役および監査役

代表取締役社長	藤 井 敏 道
代表取締役副社長	森 拓 也
代 表 取 締 役	黒 柳 辰 弥
代 表 取 締 役	蔵 本 修
取 締 役	小 山 靖 志
取 締 役	居 村 昇
取 締 役	鳥 井 博 康
取 締 役	不死原 正文
取 締 役	岸 和 博
常 勤 監 査 役	朝 倉 浩
常 勤 監 査 役	大 内 辰 夫
常 勤 監 査 役	鈴 木 義 晃

(注) 取締役鳥井博康、不死原正文、岸和博の3氏は社外取締役であります。
監査役朝倉浩、大内辰夫の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

※ 社 長 執 行 役 員 (全股統理)	藤 井 敏 道
※ 副社長執行役員 (技術本部長・海外事業担当)	森 拓 也
※ 常 務 執 行 役 員 (建築本部長)	黒 柳 辰 弥
※ 常 務 執 行 役 員 (土木本部長兼高速鉄道 推進室長)	蔵 本 修
常 務 執 行 役 員 (社長補佐・国内関係会社担当 兼安全品質環境担当)	塚 原 明 彦
※ 執 行 役 員 (管理本部長)	小 山 靖 志
※ 執 行 役 員 (建築本部副本部長)	居 村 昇
執 行 役 員 (建築本部副本部長)	正 木 慎 一
執 行 役 員 (大阪支店長)	川 原 利 朗
執 行 役 員 (東京土木支店長)	宮 脇 裕 明
執 行 役 員 (建築本部副本部長 兼国内関係会社担当役員補佐)	岡 島 裕
執 行 役 員 (東京建築支店長)	山 田 宏 志
執 行 役 員 (名古屋支店長)	森 勝 茂
執 行 役 員 (東北支店長)	森 島 修

(注) 執行役員体制のみ平成29年11月1日付の記載となっております。

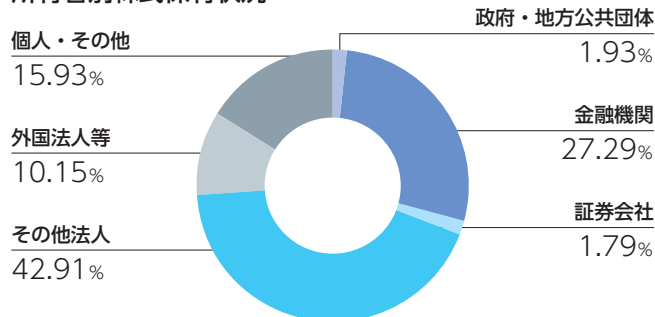
■ 株式の状況

発行可能株式総数	11,000万株
発行済株式の総数	47,486,029株
株主数	6,975名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
三菱マテリアル株式会社	15,860,354	33.40
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	9.45
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,083,500	6.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,904,900	4.01
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.86
岡山県	839,740	1.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口・75949口)	601,100	1.26
三菱地所株式会社	496,000	1.04
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口5)	446,200	0.93
ピーエス三菱従業員持株会	419,995	0.88

所有者別株式保有状況



ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主の皆様向けの情報として、財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

アドレスはこちら

<http://www.psmic.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.psmic.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトに
てご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 1871

いいかば

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより
実施いたします。
（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用する
ことはありません。

- アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL：03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL：info@e-kabunushi.com

表紙の説明



この建物は、柱・梁・床版・ルーバー等を含めたほぼ全ての躯体にPCa部材が用いられ、プレストレストコンクリート造で構築されています。PCa部材は全て当社の久留米工場で作製しており、環境保全の観点から天然骨材に代わり、三菱マテリアル社の銅スラグを使用しております。

コーポレートマーク



生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。